

教 育
— 2020～2022年度 —

I. 2020年

1. 1年次総合農業科学入門

2020年度前期（専門基礎科目）・必修・2単位（学期またがり）

履修者：125名

担当教員：福田・木村（康）

実施場所：オンライン（Zoom）開催

コロナ感染予防から、授業はオンラインで実施することとなったため、6月23日のFSセンターの紹介についても、Zoomを用いて実施した。岡山農場

の様子や取り組みを紹介したのち、津高牧場での取り組みや畜産に関する情報の紹介を行った。なお、2学期最後の週に、岡山農場の見学を実施した。

2. 1年次農場体験実習（中四国連携フィールド演習：晴れの国岡山農場体験実習）

2020年度前期・夏期集中・専門基礎科目・選択・1単位

実習担当予定教員：齊藤，吉田，木村（康），福田

技術職員（予定）：谷岡，宮地，近藤，山本，酒井，野久保，青山，出江

実施予定場所：岡山農場・津高牧場

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

3. 2年次フィールド基礎実習

2020年度前期（専門基礎科目）・選択必修・2単位（学期またがり）

履修者：第1班27名，第2班27名

担当教員：福田 他

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場・津高牧場・八浜農場

第1班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	6.15	バレイショ収穫 ブドウの摘粒	齊藤・谷岡 平野・近藤
2	6.22	花きの繁殖 カキの摘果	後藤・宮地 河井・近藤
3	6.29	ナスの整枝 田植え	吉田・宮地 富田・出江，谷岡
4	7.6	水田管理（八浜農場）	富田・出江
5	7.13	イチゴ挿し苗 カキの摘果	吉田・宮地 河井・近藤

6	7.27	ニラの収穫 モモの接ぎ木・収穫	吉田・谷岡 福田・近藤
7	8.3	ナスの整枝・スイカの収穫	吉田・宮地
8	8.11	ネギの定植 ブドウ摘粒	吉田・谷岡 平野・近藤
9	9.24	草地・和牛の管理（津高牧場）	畑生・野久保，青山
10		イチゴの定植／モモの接ぎ木	吉田，福田・宮地，谷岡，近藤
11	9.25	サトイモ収穫／稲・ブドウの見学	吉田，齊藤，福田・宮地，谷岡，近藤
12		レポート・アンケート・片付け	齋藤，福田

第2班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	6.15	ブドウ摘粒 バレイショ収穫	平野・近藤 齊藤・谷岡
2	6.22	カキの摘果 花きの繁殖	河井・近藤 後藤・宮地
3	6.29	田植え ナスの整枝	富田・出江，谷岡 吉田・宮地
4	7.6	ピーマンの整枝	吉田・宮地
5	7.13	水田管理（八浜農場）	富田・出江
6	7.27	モモの接ぎ木・収穫 ニラの収穫	福田・近藤 吉田・谷岡
7	8.3	ナスの整枝・スイカの収穫	吉田・宮地
8	8.11	ブドウ摘粒 ネギの定植	平野・近藤 吉田・谷岡
9	9.24	イチゴの定植／モモの接ぎ木	吉田，福田・宮地，谷岡，近藤
10		草地・和牛の管理（津高牧場）	畑生・野久保，青山
11	9.25	稲・ブドウの見学／サトイモ収穫	齊藤，福田，吉田・近藤，宮地，谷岡
12		レポート，アンケート・片付け	齋藤，福田

履修希望者が多数であったため、事前の抽選により受講生を各班30名に制限した。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて1学期の実習はすべて中止となったが、2学期からは対面での開講が可能となっ

た。不足する内容については夏休み終盤の9月24、25日に集中して補講を実施するとともに、補講を受けられないものには、オンラインでレポートを課して補った。

4. 農家体験実習

2020年度前期集中（専門科目）・選択・全学開放科目・2単位
担当予定教員：吉田，福田

新型コロナ感染症の感染拡大により中止した。

5. 2年次フィールド実習Ⅰ・継続栽培（イチゴ・秋冬野菜）

2020年度後期（専門科目）・選択・2単位
履修者：30名
担当教員：吉田 他

技術職員：近藤，宮地 他

継続栽培担当教員：吉田

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目（後半：野菜の継続栽培）	担当教員・技術職員
1	10. 5	オリエンテーション，秋冬野菜の定植・播種	吉田，福田・宮地，谷岡
2	10.12	カンショ収穫・野沢菜の播種	吉田・谷岡
3	10.19	畜産物の加工（畜産関連施設の見学は中止）	森田
4	10.26	トマト・ナス・イチゴの管理	吉田，安場・宮地，谷岡
4		水稻の収穫	富田，齊藤・出江
		カキの収穫・脱渋	平野・近藤，酒井
5	11. 2	水稻栽培（雨天のため収穫調整に関する講義）	富田
6	11. 9	水稻機械収穫	富田・出江
		タマネギ定植	吉田・宮地
7	11.16	キクの芽かき	後藤・宮地
8	11.20*	農業用機械の構造と操作	難波
9	11.30	秋バレイショの収穫	齋藤・谷岡
10	12. 7	和牛の管理（津高牧場）	舟橋，若井・野久保，青山
11	12.14	漬け物加工	吉田・谷岡
12	12.21	果菜類の管理	吉田・宮地
13	1.13*	ブドウの剪定	平野・近藤，酒井
14	1.18	カキ，モモの剪定	平野・近藤，酒井
15	1.25	果菜類の播種	吉田・宮地
16	2. 1	餅つき，アンケート，片づけ	吉田・技術部

継続栽培（毎週）：イチゴと秋冬野菜（吉田）

*11月20日，1月13日は月曜日の時間割で授業を実施

履修希望者が多数であったため，事前の抽選により受講生を30名に制限した。3，4学期についてはコロナの感染拡大も落ち着きを見せ始め，密を避けるため講義室での説明を最小限にとどめて屋外での説明に努めることによって，見学等を除いてほぼ予定どおりに実施することができた。本実習については，専門分野ごとの個別実習に加えて，栽培実習と

してイチゴの栽培管理を毎回継続して実施するとともに，学生に4 m程度の区画を割り当てて秋冬野菜の栽培を行った。栽培する野菜については，センターで生産用に育成した苗や種子を自由に選ばせた。対面での実習を待ち望んでいた学生が多く，日が暮れるまで熱心に秋冬野菜の管理・収穫を行っていた。

6. 3年次フィールド実習Ⅱ

2020年度前期（専門科目）・選択・2単位（学期またがり）

履修者：18名

担当教員：齊藤・吉田・福田

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目（後半：野菜の継続栽培）	担当教員・技術職員
1	6.16	水稻機械移植／スイカ整枝	富田，吉田・出江，宮地
2	6.23	ブドウの摘粒／ナス・スイカ整枝	福田，吉田・近藤，宮地
3	6.30	ナス・スイカ整枝	吉田・宮地
4	7. 7	エダマメ定植	齋藤・谷岡
5	7.14	イチゴ挿し苗	吉田・宮地

6	7.28	刈り払い機の操作	齋藤・出江
7	8. 4	スイカ収穫	吉田・宮地
8	8.11	ナス整枝・圃場管理	吉田・谷岡, 宮地
9	9. 1	ブドウ整枝	福田・近藤
10	9.29	アンケート・片づけ	福田, 吉田・近藤, 宮地

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて1学期の実習はすべて中止となったが、2学期からは対面での開講が可能となった。圃場での継続栽培については、トマト・ナス・ピーマンの果菜類のみとして技術部で5月に定植した苗を引きついで栽培管理を

行った。不足する内容については、夏休み中も菜園の栽培を継続し、各グループで相談して交代で灌水・整枝等の栽培管理を実施させるとともに、9月1日、29日に補講を実施して補った。

7. 3年次牧場実習（中四国地区大学連携フィールド演習）

2020年度前期・夏期集中・専門科目・選択・2単位

実習担当予定教員：木村（康）他

技術職員（予定）：野久保, 青山

実施予定場所：津高牧場

新型コロナ感染症の感染拡大により中止した。

II. 2021年

1. 1年次総合農業科学入門

2021年度前期（専門基礎科目）・必修・2単位（学期またがり）

履修者：125名

担当教員：福田・木村（康）

実施場所：オンライン（Zoom）開催

6月15日に、1年生全員を対象として山陽圏フィールド科学センターの紹介をオンラインで実施した。フィールド科学センターの全容について簡単

に説明したうえで岡山農場の様子と津高牧場についてPPTで紹介を行った。

2. 1年次農場体験実習

2021年度前期・夏期集中（宿泊）・専門基礎科目・選択・1単位

（農学部生以外の学生にとっては教養教育科目となる）

履修者：農場体験13名（岡山大文1名, 教2名, 法1名, 工6名）, コンソーシアム岡山構成大学3名
（ノートルダム清心女子大学）

実習担当教員：齋藤, 吉田, 木村（康）, 福田

技術職員：谷岡, 宮地, 近藤, 山本, 酒井, 野久保, 青山, 井上, 出江

実施場所：岡山農場, 津高牧場

中四国連携フィールド演習「晴れの国岡山農場体験実習」は感染リスクを考慮して中止した。

9月27日（月）		9月28日（火）		9月29日（水）	
時刻	実習項目	時刻	実習項目	時刻	実習項目
10:30-11:45	センター紹介	9:00-10:15	果樹園管理	9:00-9:30	移動（津高牧場）
11:45-13:15	昼食（生協等を利用）	10:30-11:45	モモの接ぎ木	9:45-10:45	草地の管理
13:15-15:00	移動（津高牧場）	11:45-13:15	昼食（生協等を利用）	11:00-12:00	和牛の管理
15:15-17:00	牛舎実習	13:15-15:00	ブドウの収穫・品質測定1	12:00-12:30	移動（岡山農場）
17:00	解散	15:15-17:00	ブドウの収穫・品質測定2	12:30-14:00	昼食（生協等を利用）
		17:00	解散	14:00-15:30	水田管理1
				15:45-17:00	水田管理2
				17:00	解散
					（レポートはメール送付）

コンソーシアム岡山構成大学のノートルダム清心女子大学から3名の履修があった。岡山大学4学部合計13名の履修があったが、教養科目として単位取得目的の学生がみられた。稲作・野菜・果樹・畜産と様々な農業の側面にふれることができ、他大学の学生と交流ができたこと、受講生の評価も高かった。

中四国フィールド演習科目として履修の募集を行い履修志望理由により、19名を選抜したが、ホテル宿泊、オンライン授業併用、感染防止対策を徹底しても、感染リスクが演習実施による教育効果を上回ると予想され、昨年同様に中止とした。

3. 2年次フィールド基礎実習

2021年度前期（専門基礎科目）・選択必修・2単位（学期またがり）

履修者：第1班30名、第2班30名

担当教員：福田 他

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場・津高牧場・八浜農場

第1班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4.19	果菜類の定植（スイカ）	吉田・宮地
2	4.26	草地管理（津高牧場）	鶴田・野久保、青山
3	5.17	サツマイモの定植 果菜類の管理	安場・谷岡 吉田・宮地
＜ 5月24日～6月14日の実習は岡山県緊急事態措置を受けて延期 ＞			
4	6.21	花き圃場の見学	後藤
5	6.28	イチゴ挿し苗 田植え（岡山）	吉田・宮地 富田・出江
6	7.5	水田管理（八浜）	富田・出江
7	7.12	果菜類の管理 カキの摘果	吉田・宮地 河井・近藤
8	7.26	ネギの定植 モモの接ぎ木・収穫	吉田・宮地 福田・近藤
9	8.2	スイカの収穫	吉田・宮地
10	8.10	花き生産について／野菜の管理	後藤、吉田・宮地

11	9.21	和牛の管理（津高牧場）	辻・野久保, 青山
12	9.21	モモの接ぎ木／イチゴの定植／ブドウ収穫	福田, 吉田・近藤, 宮地

第2班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4.19	草地管理（津高牧場）	鶴田・野久保, 青山
2	4.26	果菜類の定植・管理（ナス）	吉田・宮地
3	5.17	サツマイモの定植 モモの摘果	安場・谷岡 福田・近藤
<p>< 5月24日～6月14日の実習は岡山県緊急事態措置を受けて延期 ></p>			
4	6.21	ブドウ摘粒 果菜類の管理	平野・近藤, 酒井 吉田・宮地
5	6.28	田植え（岡山） ブドウの袋かけ	富田, 水田 平野, 果樹
6	7. 5	一宮モモ選果場, ブドウ農家見学	福田
7	7.12	水田管理（八浜）	富田・出江
8	7.26	モモの接ぎ木・収穫 ネギの定植	福田・近藤, 酒井 吉田・宮地
9	8. 2	スイカの収穫	吉田・宮地
10	8.10	花き生産について／野菜の管理	後藤, 吉田・宮地
11	9.21	モモの接ぎ木／イチゴの定植／ブドウ収穫	吉田, 福田・宮地, 近藤
12	9.21	和牛の管理(津高牧場)	荒川・野久保, 青山

第4波のコロナ感染拡大によって4月16日まで対面授業が禁止されたが、学部長の許可のもと5月17日までの実習は対面で実施することができた。しかし、岡山県緊急事態措置が5月16日から発出され、

6月20日まで継続されたため5月17日から6月14日までの5回の実習は延期して夏休みに補講を実施せざるを得なかった。

4. 農家体験実習

2021年度前期集中（専門科目）・選択・全学開放科目・2単位

担当予定教員：吉田, 福田

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

5. 2年次フィールド実習Ⅰ・継続栽培（イチゴ・秋冬野菜）

2021年度後期（専門科目）・選択・2単位

履修者：30名

担当教員：吉田 他

技術職員：近藤, 宮地 他

継続栽培担当教員：吉田

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目 (後半：野菜の継続栽培)	担当教員・技術職員
1	10. 4	オリエンテーション, 秋冬野菜の定植・播種	吉田, 福田・谷岡, 宮地
2	10.11	秋野菜の播種	吉田, 安場・谷岡
3	10.18	畜産物の加工 (見学を中止して講義)	森田
4	10.25	果菜類の管理	吉田, 安場・宮地
		水稻の収穫	福田, 齊藤・出江
5		カキの収穫・脱渋	平野・近藤, 酒井
6	11. 8	タマネギの定植	安場・宮地
7		サトイモの収穫	齊藤・谷岡
	11.15	水稻収量調査	福田・出江
8		キクの芽かき	後藤, 北村・宮地
9	11.22	農業用機械の構造と操作	難波
10	11.29	秋バレイシヨの収穫	齊藤・谷岡
11	12. 6	和牛の管理 (津高牧場)	舟橋, 若井・青山
12	12.13	漬物加工	吉田, 安場・谷岡
13	12.20	果菜類の管理	吉田, 安場・宮地
14	1.13*	ブドウの剪定	平野・近藤, 酒井
15	1.17	カキ, モモの剪定	福田・近藤, 酒井
16	1.24	果菜類の播種, アンケート, 片づけ	安場, 吉田・宮地

継続栽培 (毎週)：イチゴと秋冬野菜 (安場・吉田)

* 1月13日は月曜日の時間割で授業を実施

履修希望者が多数であったため、事前の抽選により受講生を30名に制限した。3, 4学期についてはコロナの感染拡大も落ち着きを見せ始め、密を避けるため講義室での説明を最小限にとどめて屋外での説明に努めることによって、見学等を除いてほぼ予定どおりに実施することができた。本実習については、専門分野ごとの個別実習に加えて、栽培実習と

してイチゴの栽培管理を毎回継続して実施するとともに、学生に4㎡程度の区画を割り当てて秋冬野菜の栽培を行った。栽培する野菜については、センターで生産用に育成した苗や種子を自由に選ばせた。対面での実習を待ち望んでいた学生が多く、日が暮れるまで熱心に秋冬野菜の管理・収穫を行っていた。

6. 3年次フィールド実習Ⅱ

2021年度前期 (専門科目)・選択・2単位 (学期またがり)

履修者：18名

担当教員：齊藤・安場・吉田・福田

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目 (後半：ブドウと夏野菜の継続栽培)	担当教員・技術職員
1	4.13	野菜 キュウリ接木・メロン整枝	吉田・宮地
2	4.20	作物 エダマメ・スイートコーン播種・定植	齊藤・谷岡
3	4.27	果樹 ブドウの芽かき	福田, 平野・近藤, 酒井
4	5.11	野菜 スイカ定植・メロン整枝	吉田・宮地
		果樹 モモの予備摘果	福田・近藤, 酒井
5	5.18	作物 サトイモ定植	齊藤・谷岡
6	5.25*	(果樹 ブドウの枝管理・カキの摘花)	福田, 平野・近藤, 酒井
7	6. 1*	(野菜 ナス・スイカの整枝)	吉田・宮地
		(果樹 モモの本摘果)	福田・近藤, 酒井

8	6. 8*	(作物 バレイショの収穫)	齊藤・谷岡
9	6.15*	(作物 水稲機械移植) (野菜 果菜類の管理)	富田・出江, 谷岡 吉田・宮地
10	6.22	果樹 ブドウの摘粒・袋かけ	福田, 平野・近藤, 酒井
11	6.29	野菜 イチゴ挿し苗	
12	7. 6	果樹 果樹の薬剤散布	福田, 平野・近藤, 酒井
13	7.13	果樹 モモの収穫 野菜 果菜類の管理	福田・近藤, 酒井 吉田・宮地
14	7.20	作物 水稲生育調査・畑地雑草防除	齊藤
15	7.27	アンケート, 片付け	齊藤

* 5月25日～6月15日は内容を変更して圃場集合で栽培管理作業のみ実施

第4波のコロナ感染拡大によって4月16日まで対面授業が禁止されたが、学部長の許可のもと5月18日までの実習は対面で実施することができた。しかし、岡山県緊急事態措置が5月16日から発出されて6月20日まで継続されたため、5月25日から6月15

日までの4回の実習は予定を変更して密を避けるため毎週圃場に直接集合させ、果樹（ブドウ、モモ）と公開講座用圃場の一部で自主的に栽培している野菜の栽培管理のみを指導した。

7. 3年次牧場実習（中四国地区大学連携フィールド演習）

2021年度前期・夏期集中・専門科目・選択・2単位

実習担当予定教員：木村（康）他

技術職員（予定）：青山, 野久保

実施予定場所：津高牧場

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

Ⅲ. 2022年

1. 1年次総合農業科学入門

2022年度前期（専門基礎科目）・必修・2単位（学期またがり）

履修者：125名

担当教員：齊藤・木村（康）他

実施場所：岡山農場・津高牧場

6月14日、21日の2日間、それぞれの日に履修した1年生の半数を対象として山陽圏フィールド科学センターの紹介と見学を実施した。講義室でフィールド科学センターの全容について簡単に説明したう

えで岡山農場（齊藤, 安場, 吉田, 福田）を見学した後、大型バス2台で移動し、津高牧場（木村（康）, 揖斐）の見学を行った。

2. 1年次農場体験実習（中四国連携フィールド演習：晴れの国岡山農場体験実習）

2022年度前期・夏期集中・専門基礎科目・選択・1単位

実習担当予定教員：齊藤，吉田，木村（康），福田

技術職員（予定）：谷岡，宮地，近藤，山本，酒井，野久保，青山，出江

実施予定場所：岡山農場，津高牧場

他県からの履修者については、宿泊をホテルに義務化して、岡山農場・津高牧場の対面実習を企画していたが、台風14号の北上に伴い交通機関の乱れが

予想されたため、ホテルキャンセルを考慮して、中止として各大学、履修者に連絡した。

3. 2年次フィールド基礎実習

2022年度前期（専門基礎科目）・選択必修・2単位（学期またがり）

履修者：第1班29名，第2班30名

担当教員：福田 他

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場・津高牧場・八浜農場

第1班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4.11	オリエンテーション・キクの挿し芽と定植	齊藤，福田，後藤，北村・宮地
2	4.18	果菜類の定植・管理（スイカ）	吉田，安場・宮地
3	4.25	草地管理（津高牧場）	西野，鶴田・青山，野久保
4	5. 9	モモの摘果 果菜類の管理（ピーマン・カボチャ）	福田・近藤，酒井 安場，吉田・宮地
5	5.16	和牛の管理（津高牧場）	荒川・青山，野久保
6	5.23	サツマイモの定植 水稻播種	安場・谷岡 富田・出江，谷岡，宮地
7	5.30	モモの摘果・袋かけ 果菜類の管理	福田・近藤，酒井 安場，吉田・宮地
8	6. 6*	果実のホルモン処理 タマネギ収穫	平野・近藤，酒井 安場・宮地
9	6.13	バレイショの収穫 ブドウの摘粒	齊藤・谷岡 平野・近藤，酒井
10	6.20	畑地雑草の種類と管理 果菜類の管理	中嶋 安場，吉田・宮地
11	6.27	イチゴの挿し苗 田植え	吉田，安場・宮地 富田・出江，谷岡
12	7. 4	水田管理	富田・出江（八浜）
13	7.11	果菜類の管理 カキの摘果	安場，吉田・宮地 平野，果樹
14	7.15*	ネギの定植 モモの接ぎ木・収穫	安場，吉田・谷岡 福田・近藤

15 7.25 スイカの収穫, アンケート, 片づけ他 安場, 吉田・宮地

* 6月6日は1学期試験期間であるが実習を実施, 7月15日は月曜授業

第2班

回	月日	実習項目	担当教員・技術職員
1	4.11	オリエンテーション・キクの挿し芽と定植	齊藤, 福田, 後藤, 北村・宮地
2	4.18	草地管理 (津高牧場)	西野, 鶴田・青山, 野久保
3	4.25	果菜類の定植・管理 (ナス)	吉田, 安場・宮地
4	5. 9	果菜類の管理 (ピーマン・カボチャ) モモの摘果	吉田, 安場・宮地 福田・近藤, 酒井
5	5.16	サツマイモの定植/タマネギの収穫	安場・谷岡, 宮地
6	5.23	和牛の管理 (津高牧場)	荒川・青山, 野久保
7	5. 3	モモの摘果・袋かけ 果菜類の管理	福田・近藤, 酒井 安場, 吉田・宮地
8	6. 6*	タマネギ収穫 果実のホルモン処理	安場, 野菜・花き 平野・近藤
9	6.13	ブドウの摘粒 バレイショの収穫	平野・近藤, 酒井 齊藤・谷岡
10	6. 2	カキの摘果 果菜類の管理	河井・近藤, 酒井 安場, 吉田・宮地
11	6.27	田植え (岡山) イチゴの挿し苗	富田・出江, 谷岡 吉田, 安場・宮地
12	7. 4	ブドウの袋かけ	平野・近藤, 酒井
13	7.11	水田管理 (八浜)	富田・出江
14	7.15*	モモの接ぎ木・収穫 ネギの定植	福田・近藤 安場, 吉田・谷岡
15	7.25	スイカの収穫, アンケート, 片づけ他	安場, 吉田・宮地

* 6月6日は1学期試験期間であるが実習を実施, 7月15日は月曜授業

今年度も, 希望者多数であったため, 事前に各班30名に絞った。スケジュール通り, 実施できたが, 過密状態にならないように, 各班をさらに半分ずつなどに分けて, 複数場所での実習を心がけた。その

ような状況でも, 実際に作物や家畜に触れて, 生理的な知識や技術の習得ができたことは, 以後の研究生活につながると思われた。

4. 農家体験実習

2022年度前期集中 (専門科目)・選択・全学開放科目・2単位

担当予定教員: 吉田, 福田

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した。

5. 2年次フィールド実習 I・継続栽培 (イチゴ・ハウレンソウ)

2022年度後期 (専門科目)・選択・2単位

履修者: 30名

担当教員: 安場 他

技術職員：野久保， 近藤 他

継続栽培担当教員：吉田

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目（後半：野菜の継続栽培）	担当教員・技術職員
1	10. 3	オリエンテーション， 秋冬野菜の定植・播種	安場， 吉田， 福田・谷岡
2	10.17	秋野菜の播種	安場， 吉田・谷岡
3	10.24	畜産関連施設の見学	森田
4	10.31	果菜類の管理 水稲の収穫 カキの収穫・脱渋	安場， 吉田・宮地 富田， 齊藤・出江 平野・近藤
5	11. 7	タマネギの定植 サトイモの収穫	安場， 吉田・宮地 齊藤・谷岡
6	11.14	水稲収量調査 キクの芽かき	富田・出江 後藤， 北村・宮地
7	11.21	農業用機械の構造と操作	難波
8	11.28*	秋バレイショの収穫	齊藤， 野菜・花き
9	12. 5	和牛の管理	舟橋， 若井・青山， 野久保
10	12.12	漬け物加工	吉田， 安場・谷岡
11	12.19	果菜類の管理	安場， 吉田・宮地
12	1. 5*	ブドウの剪定	平野・近藤， 酒井
13	1.16	カキ， モモの剪定	福田・近藤， 酒井
14	1.23	果菜類の播種， アンケート， 片づけ	安場， 吉田・宮地

継続栽培（毎週）：イチゴと秋冬野菜（安場・吉田）

*11月28日は3学期試験期間であるが実習を実施， 1月5日は月曜授業

履修希望者が多数であったため，事前の抽選により受講生を30名に制限した。引き続き講義室での説明を最小限にとどめて屋外での説明に努めたが，コロナの感染も落ち着いていたため，ほぼ予定どおりに実施することができた。本実習については，専門

分野ごとの個別実習に加えて，栽培実習としてイチゴの栽培管理を毎回継続して実施するとともに学生に4 m²程度の区画を割り当てて秋冬野菜の栽培を行った。

6. 3年次フィールド実習Ⅱ

2022年度前期（専門科目）・選択・2単位（学期またがり）

履修者：22名

担当教員：齊藤・安場・福田・中嶋

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目（後半：ブドウと夏野菜の継続栽培）	担当教員・技術職員
1	4.12	野菜 キュウリ接木・メロン整枝 果樹 ビワの摘果	安場， 吉田・宮地 福田・近藤， 酒井
2	4.19	作物 エダマメ・スイートコーン播種・定植	齊藤・谷岡
3	4.26	果樹 ブドウの芽かき	福田， 平野・近藤， 酒井
4	5. 1	野菜 スイカ定植・メロン整枝 果樹 モモの予備摘果・ブドウ誘引	安場， 吉田・宮地 福田・近藤， 酒井
5	5.17	作物 サトイモ定植	齊藤・谷岡
6	5.24	果樹 ブドウの枝管理・カキの摘花	福田， 平野・近藤， 酒井

7	5.31	野菜	ナス・スイカの整枝	安場, 吉田・宮地
		果樹	モモの本摘果・袋かけ	福田・近藤, 酒井
8	6. 7*	作物	バレイショの収穫	齊藤・谷岡
9	6.14	作物	水稻機械移植	富田・出江, 谷岡
		野菜	果菜類の管理	安場, 吉田・宮地
10	6.21	果樹	ブドウの摘粒・袋かけ	福田, 平野・近藤, 酒井
11	6.28	野菜	イチゴ挿し苗	吉田, 安場・宮地
12	7. 5	野菜	果菜類の整枝	安場, 吉田・宮地
13	7.12	果樹	モモの収穫・果樹の薬剤散布	福田・近藤, 酒井
14	7.19	作物	畑地雑草の防除	中嶋
15	7.26	試験	アンケート, 片付け	齊藤

夏野菜・ブドウの継続栽培（野菜：安場・吉田，ブドウ：福田・平野）

* 1学期試験期間であるが，実習を実施

講義室での解説をとりやめ，圃場で説明を行うことで，過密状態を避けるようにし，本実習項目，継続栽培をなるべく短時間の作業となるように考慮して実施した。そのような中でも，作物の生長や収穫のタイミングなど，継続栽培のメリットを生かして，実技や栽培方法の体得を行えたと考えられた。

7. 3年次牧場実習（中四国地区大学連携フィールド演習）

2022年度前期・夏期集中・専門科目・選択・2単位

履修者：20名（岡山大学6，広島大学2，鳥取大学4，島根大学1，山口大学4，香川大学2，愛媛大学1名）

実習担当予定教員：木村（康）他

技術職員：青山，野久保

実施時期：8月29日（月）～9月2日（金）

集合場所：センター実習棟1階第1講義室

集合時間：8月30日 12：00厳守

実施場所：オンライン（8月29日）・津高牧場（8月30日～9月1日）・化学生物学実験室（9月2日）

【実習計画】

回	月日	時間	実習項目	担当者
1	8.29	8：45 - 9：00	開講に先がけての諸注意（オンライン）	木村
		9：00 - 11：30	畜産経営（オンライン）	駄田井
		11：30 - 13：00	休憩	
		13：30 - 14：30	和牛の改良（オンライン）	揖斐
		14：30 - 15：00	休憩	
		15：00 - 16：30	和牛の遺伝的疾患（オンライン）	辻
2	8.30	12：00 - 12：30	フィールド科学センター（FSC）集合	
		12：30 - 13：00	ガイダンス	木村
		14：00 - 14：30	津高牧場へ移動	
		14：30 - 17：00	和牛の審査（実技）	櫻井
		17：00 - 17：30	FSCへ移動・解散・各自ホテルへ	
3	8.31	8：30 - 9：00	直検実習（講義）	木村・山本
		9：00 - 9：30	津高牧場へ移動	
		9：30 - 12：00	直検実習（実技）	木村・山本
		12：00 - 13：00	昼食・休憩	

		13:00 - 16:00	人工授精と胚移植技術の基礎	舟橋
		16:00 - 17:00	牛舎実習	青山
		17:00 - 17:30	FSCへ移動・解散・各自ホテルへ	
4	9.1	8:30 - 9:00	飼料の貯蔵と利用 (講義)	西野
		9:00 - 9:30	津高牧場へ移動	
		9:30 - 12:00	飼料の貯蔵と利用 (実技)	西野
		12:00 - 13:00	昼食・休憩	
		13:00 - 16:00	和牛の衛生管理	畑生
		16:00 - 17:00	牛舎実習	青山
		17:00 - 17:30	FSCへ移動・解散・各自ホテルへ	
5	9.2	8:30 - 12:00	乳の加工と検査法 (化学生物実験室)	荒川
		12:00 - 13:00	昼食・休憩	
		13:00 - 14:00	実習まとめ・閉講式	木村
		14:00	解散	

今年度の牧場実習は、岡山大学活動制限レベルが1に維持されていることも踏まえ、感染防止対策に配慮して、履修者を20名に制限し、県外生についてはホテル宿泊(参加者が予約)とした。オンライン講義を初日(8月29日)に配置して、8月30日~9月1日はバスで津高牧場へ送迎し、講義・実技実習を行った。9月2日は「乳の加工と検査法」について農学部の化学生物学実験室で実習を行った。午後には実習まとめ・閉講式を行い、14:00に解散した。履修者20名の内訳は岡山大学6、広島大学2、鳥取大学4、島根大学1、山口大学4、香川大学2、愛媛大学1名であった。オンライン講義も含め、コロナ禍にもかかわらず、実習に対する満足度は概ね満足しているとの結果であった(実施後のアンケート

ト)。県外生についてはホテル宿泊費の負担が懸念された。本年度は、本学から6名の参加者があったが、コロナ禍により今後も減少傾向にあると予測される。本実習は5日間の集中実習であるが、オンライン講義も含めたハイブリッド型対面実習としての開催の可能性が見出された。来年度以降、津高牧場の宿泊施設で共同生活を行い、その中で実習・学習を行うことはポストコロナ後には困難に思えるが、津島宿泊所等の利用も考慮して、中四国地区大学連携フィールド演習としての「牧場実習」を継続し、大学および学年間を越える親睦を深めることができ、日頃では得られない貴重な体験を学生に得る機会を提供して行きたい。